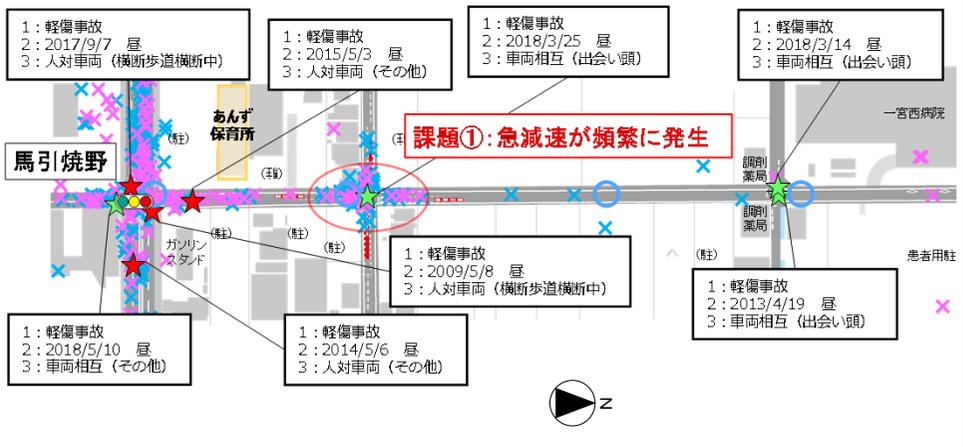


# 一宮市 開明南部地区

## 事故対策の必要性

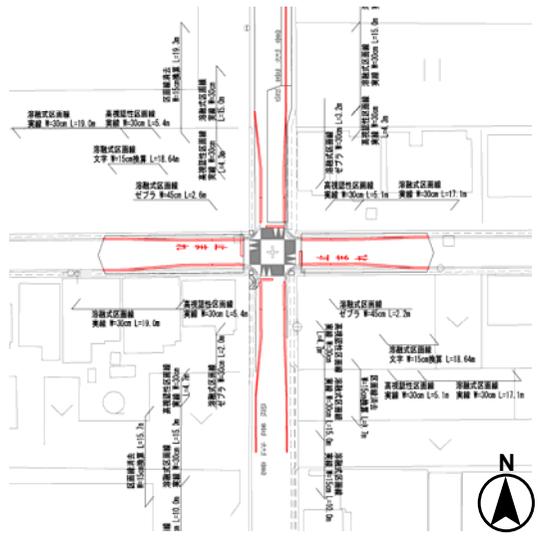
●一宮西病院の東側の、南北に抜ける生活道路において、急制動および事故が多く、走行速度が高い傾向であることに着目。



<ETC2.0プローブデータを活用した課題整理> 【出典】死傷事故データ 期間: H20.1~H30.12  
ETC2.0プローブデータ 期間: H30.4~H31.3

## 対策案・計画平面図

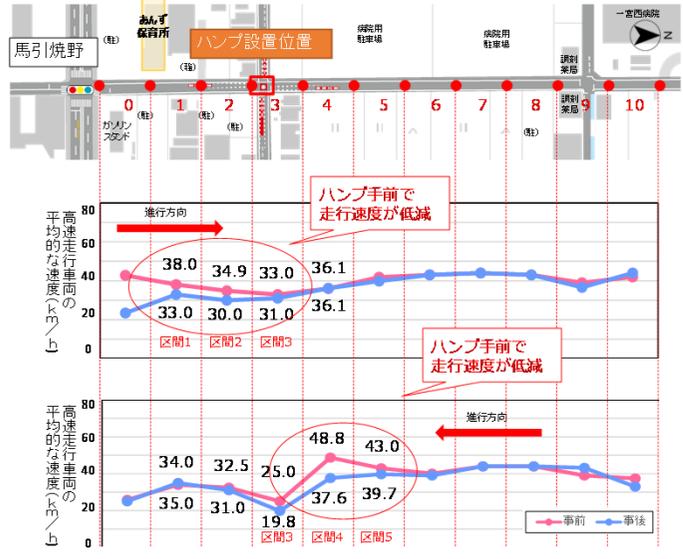
●交差点部にハンプを設置。交差点周辺部の外側線(白線)の幅を縮小。(R3.3施工)



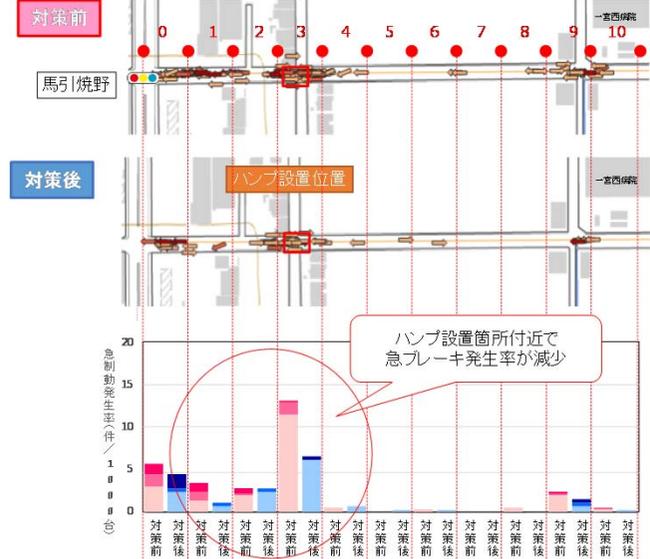
<ハンプ設置状況>

## 整備効果

- 対策前、対策後の状況変化をETC2.0プローブデータで検証。
- ハンプ設置後はハンプ設置区間での速度低下は顕著であり、区間を通じて高速(40km/h以上)で走行する車両の比率が低下した。
- 急ブレーキ多発箇所において対策後急ブレーキが減少した。



<平均速度の変化> ※高速走行車両の平均的な速度とは計測した車両の上位15%位置する車両の速度



凡例

- ↑ -0.3G以下~-0.4G未満
- ↑ -0.4G以下~-0.5G未満
- ↑ -0.5G以下

※急制動発生率は、急制動発生回数を着目路線を走行したETC2.0搭載車両の台数で除し、千台あたりの発生回数で示したもの。  
※進行方向が南北方向ではないデータは、急制動発生率の計算からは除外している。

凡例

- 対策前 -0.3G~-0.4G
- 対策前 -0.4G~-0.5G
- 対策前 -0.5G以下
- 対策後 -0.3G~-0.4G
- 対策後 -0.4G~-0.5G
- 対策後 -0.5G以下

【出典】ETC2.0プローブデータ  
設置前: R02.09~R03.02  
設置後: R03.04~R03.05

<急ブレーキ発生状況の変化>